

平成23年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	国際分担金等経費	担当部署	環境保健部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成10年度～	担当課室	環境安全課	早水 輝好			
会計区分	一般会計	施策名	6-4国際協調による取組				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	環境基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地球環境保全に関する国際的貢献と連携の確保に資すること。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1. POPs条約拠出金 国際的協力の下でPOPs(残留性有機汚染物質)による環境リスクの削減を図るため、POPs条約(残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約)の諸事項を審議、決議する場であるPOPs条約締約国会議の開催等に係る経費の一部を分担率に応じて拠出する。 2. OECD分担金 化学物質による悪影響から人及び環境を保護するとともに、各国の化学物質規制の体制整備・国際協調を進めることを目標とした、OECD(経済協力開発機構)の環境保健安全プログラムの重要性に鑑み、本プログラムの下で行われている活動に係る分担金の一部を分担率に応じて負担する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	34	27	27	24	21
		補正予算	0	0	△ 2	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	34	27	25	24	21
	執行額	30	27	25			
執行率(%)	88%	100%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	条約締約国等が分担して負担する国際機関等への拠出金であるため、定量的な評価は困難。	成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	条約締約国等が分担して負担する国際機関等への拠出金であるため、定量的な評価は困難。	活動実績(当初見込み)				() ()	
単位当たりコスト	(円/)	算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	経済協力開発機構等拠出金	16	13	POPs条約拠出金について、国連分担率に基づく我が国の分担率が減少(22%から17%)したため。			
	経済協力開発機構等分担金	8	8				
計	24	21					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・POPs条約事務局及びOECD事務局から、拠出・分担した金額を適切に使用した旨の年次報告を受けているほか、POPs条約拠出金については締約国会議において、OECD分担金については化学品合同会合(OECD環境保健安全プログラムの意思決定会合)において使途について報告を受けている。</p> <p>・POPs条約拠出金は義務的拠出金であり、条約の締約国としてその支払いは不可欠。今後とも事務局の活動の推進に必要な拠出を行い、国際的なPOPs対策の推進に貢献する。なお、POPs条約等の化学物質等に関する条約については、条約事務局同士の連携の促進に関する国際的な検討がなされており、引き続き一層の運用の効率化の観点から国際的な検討への参加及び本点検を継続していく。</p> <p>・OECDの環境保健安全プログラムで策定された化学物質の評価手法等の基準が事実上世界の標準となっていることにより、各国が独自に手法開発等を行った場合より費用対効果の高い化学物質管理政策が実現している。このため、OECD分担金についても、今後ともOECD事務局の活動に必要な経費を分担し、国際的な化学物質対策の推進に貢献するとともに、得られた結果を国内施策に反映させる。なお、プログラムの内容については、化学品合同会合において定期的に見直しが行われており、その機会を活用し、効率化の観点から国際的な点検が行われている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		今後とも有効的な拠出となるように努めること	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

環境省
25百万円

POPs条約拠出金
OECD分担金

【支払】

A.POPs条約拠出金
16百万円

POPs条約締約国会議開催等
に係る経費として拠出

【支払】

B.OECD分担金
9百万円

環境保健安全プログラムの下で行
われる活動に要する経費の分担

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.POPs条約事務局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	POPs条約拠出金	17			
計		17	計		0
B.OECD			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	OECD分担金	9			
計		9	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	POPs条約事務局	POPs条約拠出金	16	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	OECD代表部	OECD分担金	9	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					